



2023年 3月 8日
第150号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本
発行人 助川一実
編集情宣担当
ホームページ
<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



これがベア一律10,000円要求の根拠だ!

相模原運輸区分会

Green Bridge

JR東労組 相模原運輸区分会

2023年2月10日

No. 24

発行者 中村 龍太

物価上昇分を取り戻すには?

22春闘の振り返り

- 平均基準内賃金=331,020円
- 平均定期昇給額=6,311円(係数4) ※ベースアップなし

2022年12月の消費者物価指数(総務省統計局調べ)では、対前年で4%上昇、特に電気とガスは20%以上の上昇とあります。ひとまず4%の物価上昇分を23春闘で取り戻すには、昨年の平均基準内賃金を基準にすると・・・

平均基準内賃金を330,000円として
 $330,000円 \times 4 / 100 = 13,200円$
 定期昇給(係数4)を6,300円として
 $13,200円 - 6,300円 = 6,900円$

4%の物価上昇分を取り戻すには、約7,000円のベースアップと定期昇給(係数4)が必要です。ちなみに、ある支社社友会が一律1,000~3,000円のベースアップを要望したと情報がありましたが・・・

23春闘の賃上げ民間予想(日本経済研究センター)は2.85%
 平均基準内賃金330,000円の2.85%は約9,400円 ← **ほぼ一緒!?**
 定期昇給(係数4)6,300円+要望額3,000円=9,300円

ある支社社友会の要望は特出感もなく、世間相場に合わせる要望なのではないでしょうか?
 この支社社友会の要望する1,000~3,000円のベースアップでは・・・

物価上昇分4%に到底届かない事は明白です!

物価上昇分を取り戻すだけでも7,000円のベースアップと定期昇給(係数4)が必要になります。労働組合の全国中央組織である連合は、このところの物価上昇を踏まえてベースアップ相当分として3%程度、定期昇給分を合わせて5%程度の賃上げを求め方針を決定しました。私たちのベア一律10,000円要求は、物価高騰と生活向上のために必要なものであり、決して高い要求額ではありません!

社友会の要望に騙されることなく、我々の利益と生活を守るため、23春闘をたたかい抜こう!

社友会の低額要望では家計が崩壊する!



一昨年の春闘で定期昇給係数2カットされている事を忘れてはならない!!



職場からのたたかいで要求満額を実現するぞ!!